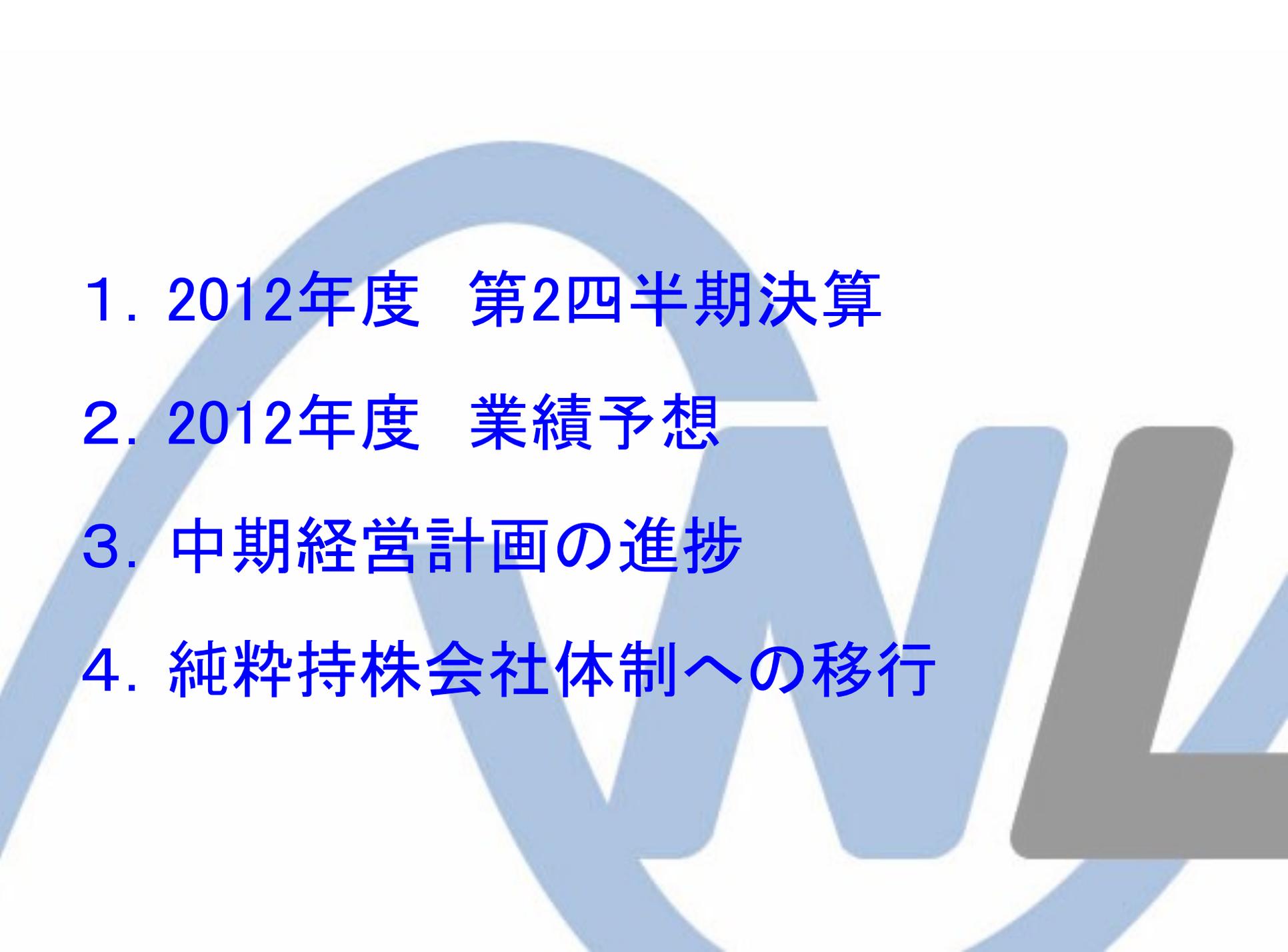


2012年度 第2四半期決算説明会

2012年 11月 8日

日本軽金属ホールディングス株式会社

(日本軽金属株式会社)

- 
1. 2012年度 第2四半期決算
 2. 2012年度 業績予想
 3. 中期経営計画の進捗
 4. 純粹持株会社体制への移行

- 
1. 2012年度 第2四半期決算
 2. 2012年度 業績予想
 3. 中期経営計画の進捗
 4. 純粹持株会社体制への移行

第2四半期決算 — 前年同期比



(億円)

	2012/4-9 実績	2011/4-9 実績	差異
売上高	1,837	2,061	△224 (△10.9%)
営業利益	52	91	△39 (△42.3%)
経常利益	36	60	△24 (△40.7%)
当期純利益	23	35	△12 (△34.0%)

セグメント情報 — 前年同期比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2012/4-9 実績	2011/4-9 実績	差異	2012/4-9 実績	2011/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	472	496	△24 (△4.9%)	25	32	△7 (△19.9%)
板、押出製品	315	367	△52 (△14.3%)	2	14	△12 (△87.1%)
加工製品、 関連事業	614	622	△8 (△1.3%)	35	22	+13 (+61.7%)
箔、粉末製品	436	576	△140 (△24.2%)	4	36	△32 (△90.4%)
管理・共通	—	—	—	△14	△13	△1
合 計	1,837	2,061	△224 (△10.9%)	52	91	△39 (△42.3%)

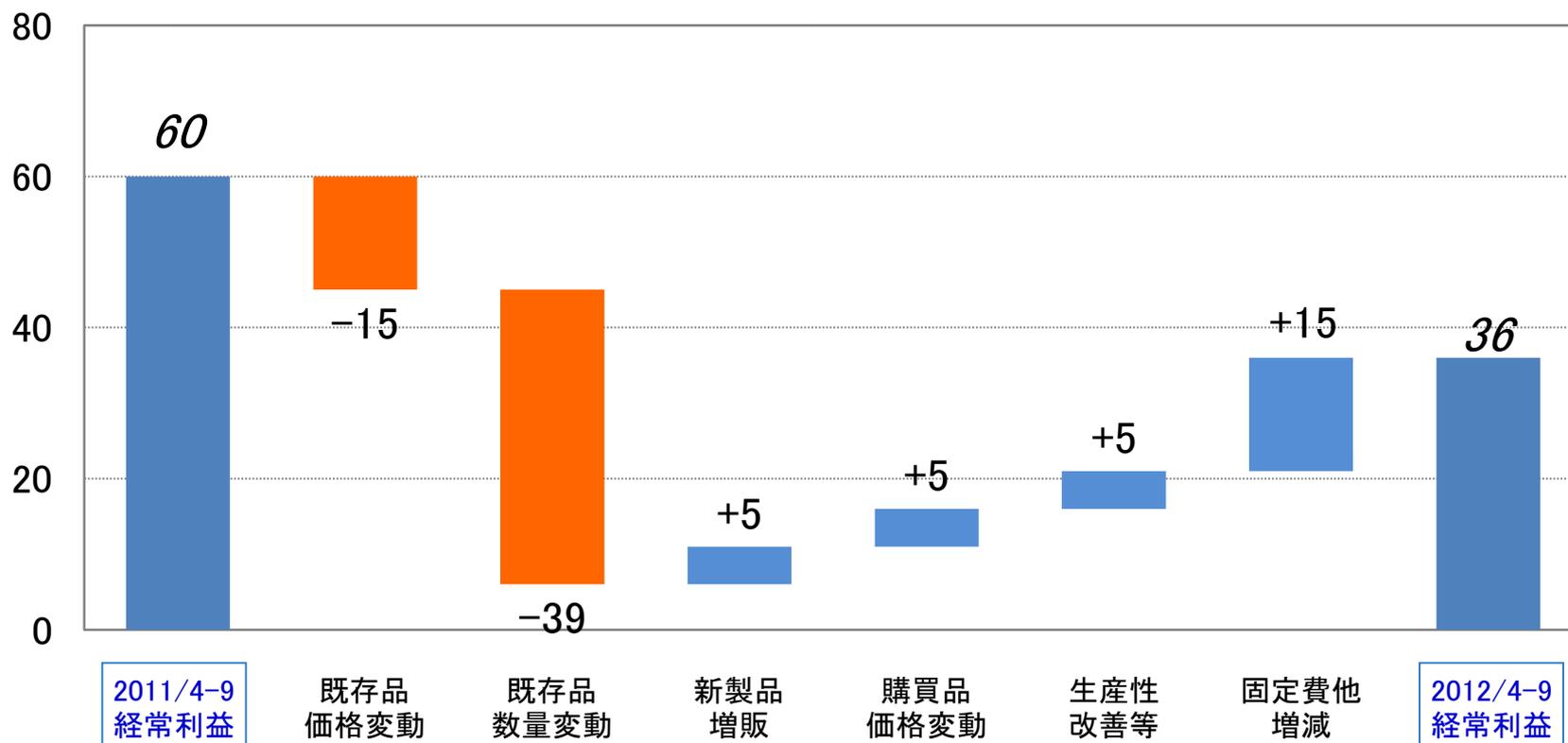
経常利益変化要因 - 前年同期比



2011年度 第2四半期 +60億円

⇒ 2012年度 第2四半期 +36億円 24億円減少

(億円)



キャッシュ・フロー計算書



2012年度 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※1) 118億円	固定資産の取得支出等 130億円
長期借入金 48億円	約定弁済等 138億円
短期借入金 87億円	社債償還 10
	長期借入金約定弁済 115
	短期借入金(純減)他 5
現金・同等物の減少 29億円	

(※1)

税引前当期純利益	27
減価償却費	78
運転資金	29
法人税等	△16

配当金支払い 14億円

2011年度 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※2) 69億円	固定資産の取得支出等 115億円
長期借入金 224億円	社債の償還 190億円
短期借入金 51億円	約定弁済等 119億円
現金・同等物の減少 93億円	

(※2)

税引前当期純利益	53
減価償却費	83
運転資金	△51
その他	△16

配当金支払い 13億円

主要会社の業績 — 前年同期比



(億円)

	2012年度第2四半期			2011年度第2四半期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	568	△5	26	690	16	44
東洋アルミニウム (連結)	440	5	0	579	37	28
日軽エムシーアルミ (連結)	227	3	3	232	3	2
日本フルハーフ (連結)	256	16	16	209	4	3
日軽金アクト	153	8	8	155	7	7

- 
1. 2012年度 第2四半期決算
 2. 2012年度 業績予想
 3. 中期経営計画の進捗
 4. 純粹持株会社体制への移行

通期業績予想 — 前期比



(億円)

	2012年度 予想	2011年度 実績	増減
売上高	3,800	4,030	△230 (△5.7%)
営業利益	135	137	△2 (△1.2%)
経常利益	100	97	+3 (+3.0%)
当期純利益	80	29	+51 (+180.1%)
有利子負債	1,920	1,877	+43
ネットDEレシオ	1.5倍	1.5倍	—
R O C E	4.9%	4.9%	—

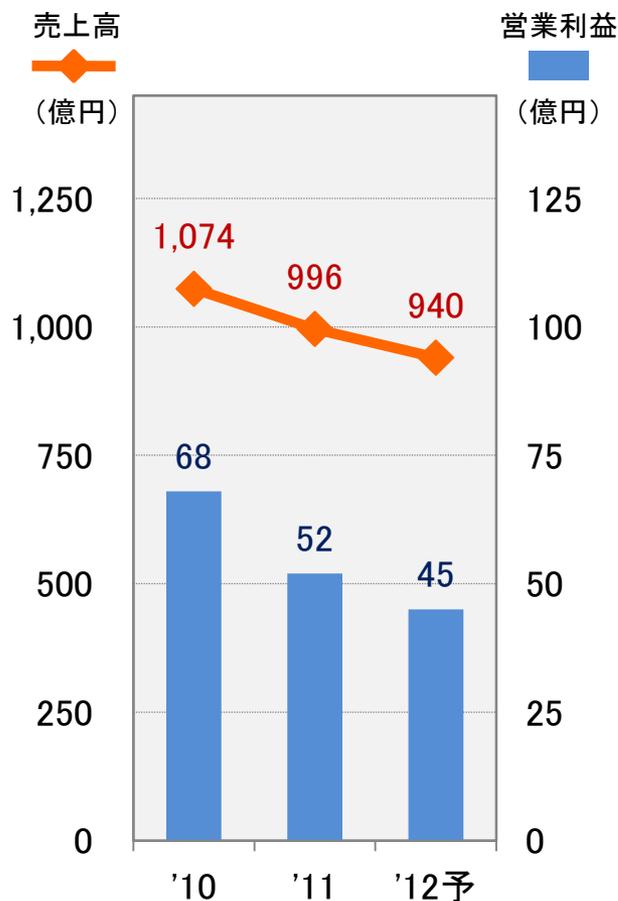
セグメント情報 — 前期比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2012年度 予想	2011年度 実績	差異	2012年度 予想	2011年度 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	940	996	△56 (△5.6%)	45	52	△7 (△13.9%)
板、押出製品	640	706	△66 (△9.4%)	15	16	△1 (△4.4%)
加工製品、 関連事業	1,250	1,280	△30 (△2.3%)	70	64	+6 (+9.5%)
箔、粉末製品	970	1,048	△78 (△7.5%)	35	34	+1 (+2.9%)
管 理 ・ 共 通	—	—	—	△30	△29	△1
合 計	3,800	4,030	△230 (△5.7%)	135	137	△2 (△1.2%)

アルミナ・化成品、地金



アルミナ・化成品

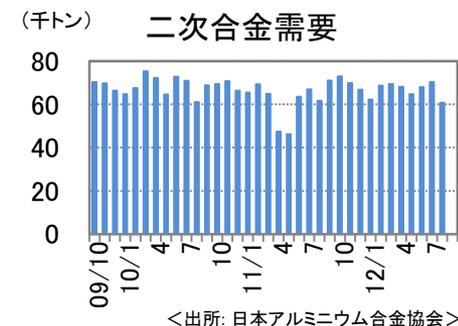
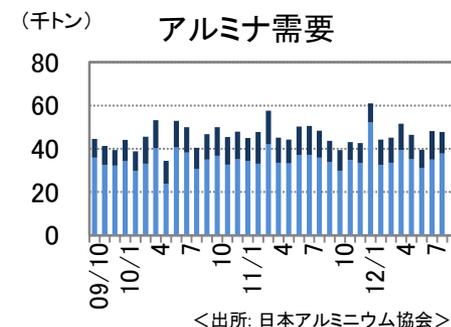
- アルミナ・水酸化アルミの出荷が低迷、輸出品も円高による苦戦続く
- 化学品は概ね堅調な推移を見込む
- LNGを始め原燃料価格が上昇
- 価格改定(値上げ)も一部ユーザーを除き決着

日軽エムシーアルミ

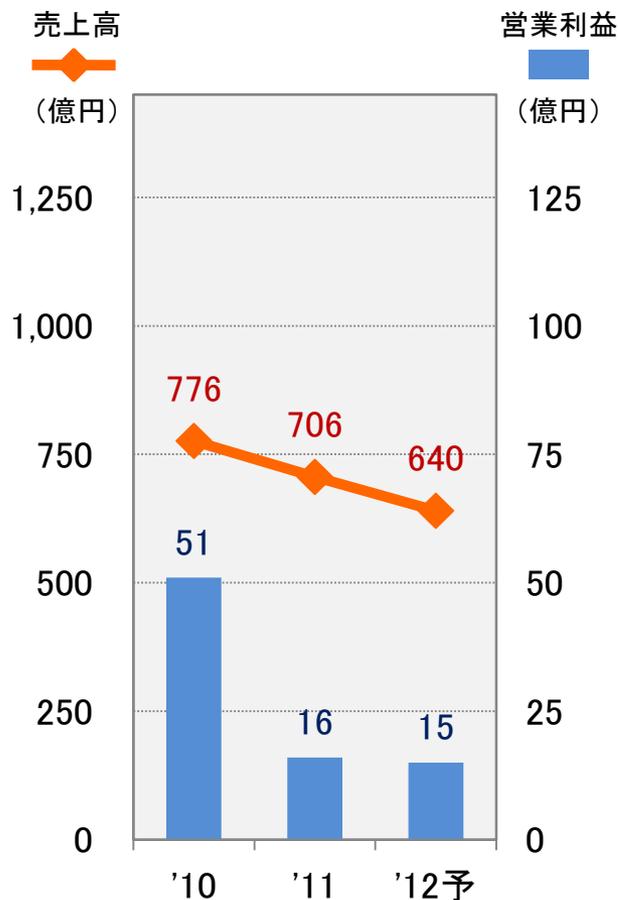
- エコカー補助金終了により、自動車の国内生産は下期から減少を見込む
- 中国反日暴動の影響が国内生産にも波及。タイ拠点の好調が続く、北米拠点でも概ね堅調が続く

日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	12年度 上期			12年度 下期			12年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	68.1	62.8	+8%	69.2	71.9	△4%	137.3	134.7	+2%
海外	51.7	45.0	+15%	52.0	49.9	+4%	103.7	94.9	+9%
合計	119.8	107.8	+11%	121.2	121.8	0%	241.0	229.6	+5%



板、押出製品



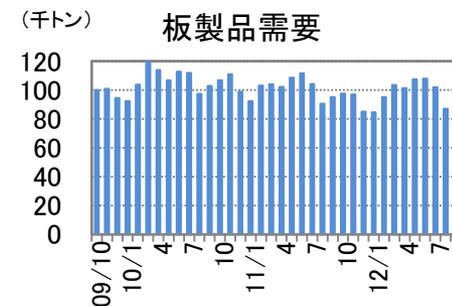
※ 2010年度は、押出加工関連子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替えています。

板

- コンデンサ向け、電機・電子向け、厚板に出荷回復の兆しが見えない
- エコカー補助金終了で輸送向けも減少
- サンアルミ合併に伴い箔地出荷増

板事業部販売量 (千トン)

	12年度 上期			12年度 下期			12年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		36.4	39.3	△7%	37.2	36.3	+2%	73.6	75.6

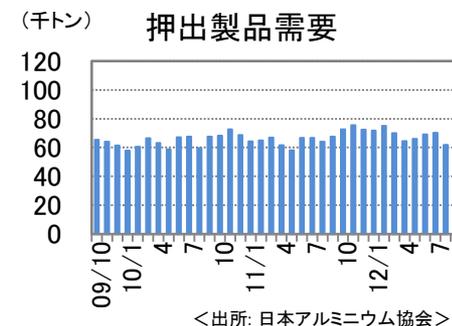


日軽金アクト

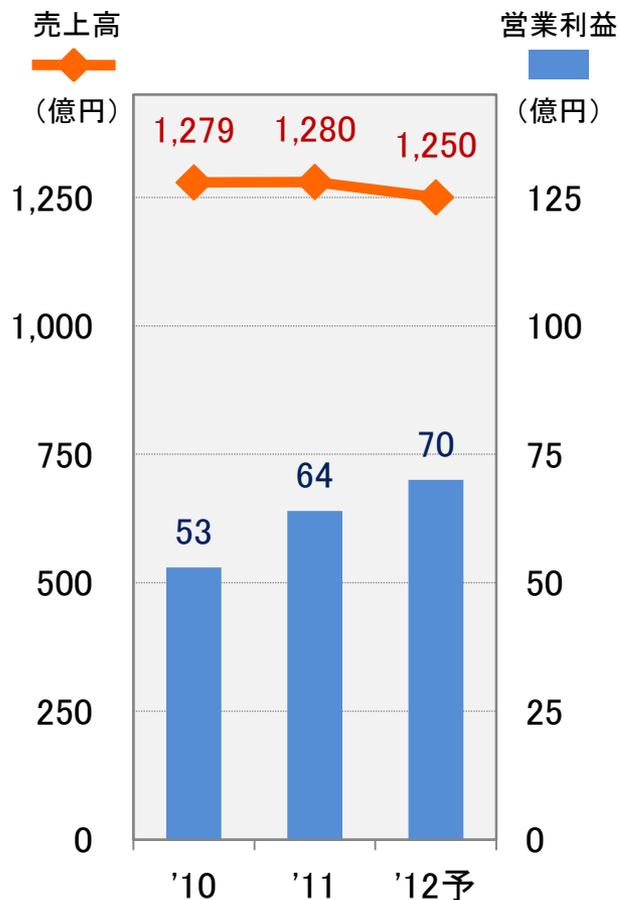
- 輸送関連では、トラック向けの堅調が続く
- 自動車部品で減少が予想される
- 二重床、鉄道が堅調
- OA機器向け管棒等、電機・電子が低迷

日軽金アクト販売量 (千トン)

	12年度 上期			12年度 下期			12年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		17.8	18.6	△4%	18.3	19.3	△5%	36.1	37.9



加工製品、関連事業



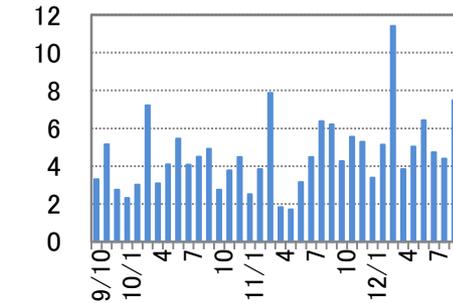
日本フルハーフ

- エコカー補助金の終了(トラックは7月まで)に伴うトラックメーカーにおける在庫調整は10月までで終了
- 12年度下期からは、03年の排ガス規制強化に伴う特需品について新規の買換需要が発生し、全体を下支え

日軽パネルシステム

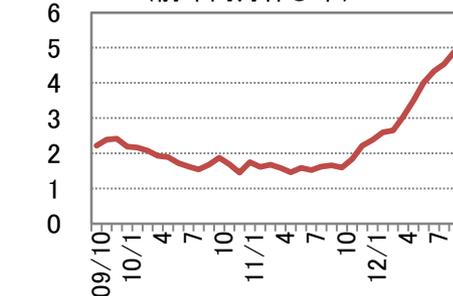
- 冷凍・冷蔵分野で、コンビニの出店増に伴い、これに関連する食品加工工場、低温流通設備向けの増加が続いている
- クリーンルーム分野では、半導体・精密機器向けの回復が見られなかったものの、医薬・バイオ分野向けの物件引き合いが増加傾向にある

(千台) 普通トラック登録台数



<出所: 日本自動車販売協会連合会>

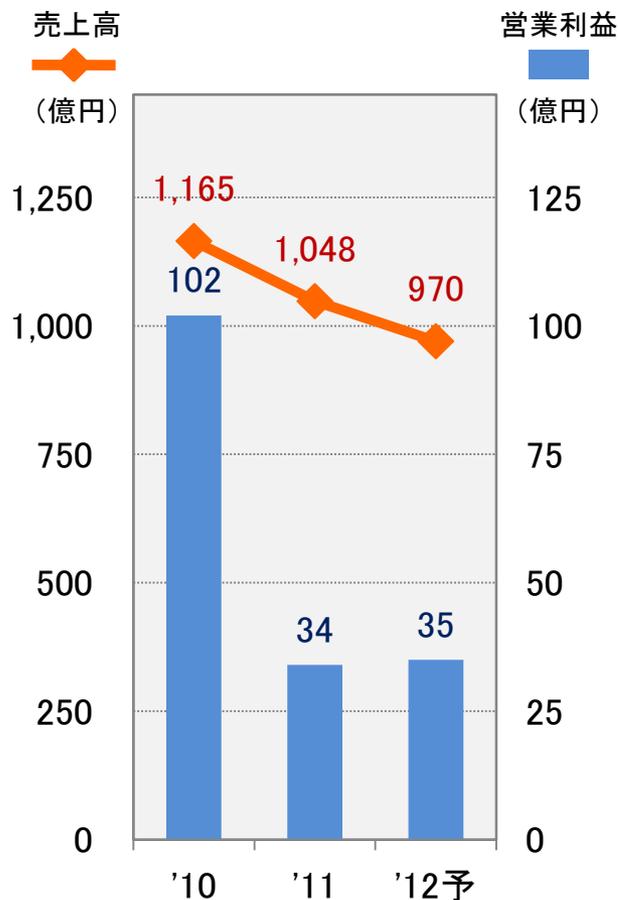
(%) コンビニ店舗数 (前年同月伸び率)



<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

※ 2010年度は、押出加工関連子会社を「加工・関連」から「板、押出」に組み替えています。

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

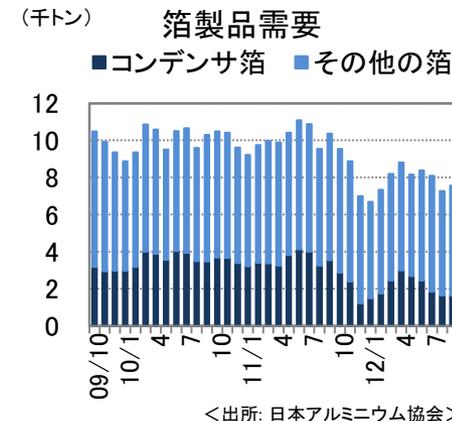
- コンデンサ箔の需要低迷続く
- LiB向けで外装用、正極材用が伸長
- トーヤルカーボが好調
- 医薬品用、乳業用は前期並みを見込む

<ペースト事業>

- 自動車塗料用では、北米向け、高輝度品、ガラスフレークが増加
- 飲料パッケージ向けインキ用や新製品の化粧品用顔料、などが好調
- 全体では増加を予想

<電子機能材事業>

- バックシート、電極インキは需要低迷、価格競争続く
- 新規格品の投入、コストダウンにより収益回復を図る



通期業績予想 — 上期⇒下期



(億円)

	2012年度 上期実績	2012年度 下期予想	上期⇒下期
経常利益	36	64	+28
東洋アルミニウム			+32
日本フルハーフ			△8
日軽金アクト			+3
持分法損益			+5
その他			△4

主要会社の業績予想 — 前期比



(億円)

	2012年度 予想			2011年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,159	△7	25	1,305	1	25
東洋アルミニウム (連結)	972	38	32	1,056	34	28
日軽エムシーアルミ (連結)	453	6	5	472	7	6
日本フルーフ (連結)	500	25	24	470	24	21
日軽金アクト	311	19	19	323	16	18

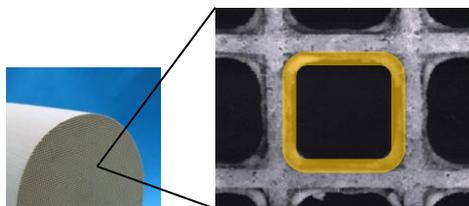
- 
1. 2012年度 第2四半期決算
 2. 2012年度 業績予想
 - 3. 中期経営計画の進捗**
 4. 純粹持株会社体制への移行



自動車

遷移アルミナ
（化成品事業部）

排ガスフィルター触媒担体



開発合金、自動車部品、
バッテリーケーブル
（メタル素形材事業部）



LEDヘッドライトヒートシンク

ボディーシート
（板事業部）



フードインナー

電機・電子

高純度アルミナ
（化成品事業部）
LEDサファイア基板向け



高純度アルミナ



サファイアインゴット

電極用アルミ箔、電池包材、導電フィラー
（東洋アルミニウム）



トーチロール



LiB外装用プレーン箔

新製品開発 ⇒ 拡販

<電極箔>

- ・トーチロールパス（貫通孔箔）
- ・粉末積層箔

<ペースト>

- ・導電フィラー



情報・通信

データセンター二重床
（日軽金アクト）



コンテナ型データセンター
（日本フルハーフ・NLMエカル）



オールインワンタイプ



フレキシブルタイプ

環境・安全・エネルギー

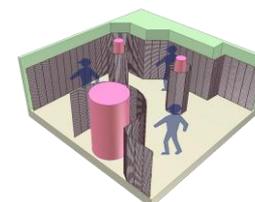
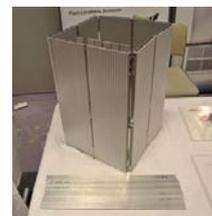
ソーラーパネル架台
（日軽金アクト、NLMエカル他）



「アルソルメガ」

<開発段階>

- ・使用済核燃料保管プール用
中性子吸収材（プール・マクサス）
- ・放射線遮蔽パネル
（アルミ・タングステン複合材）



業界No. 1ビジネスの強化（1）



化成品事業部

- ・アルミナ・水酸化アルミニウム
 - ・高付加価値品
（高純度アルミナ、遷移アルミナ等）
⇒ LED、LiB、自動車触媒等で用途拡大
 - ・凝集剤、耐火物、難燃フィラー等の従来品
⇒ 要求特性向上による差別化
- ・化学品
 - ・殺菌剤、医薬中間体、農薬原料、電子材料等
⇒ 高品質化



12年10月 清水工場原料転換完了

業界No. 1ビジネスの強化（2）



東洋アルミニウム

昭和アルミパウダー(株) 買収（11年4月買収、12年4月吸収合併）

- 昭和アルミパウダーの強み(当時)
 - 国内家電向けペーストでトップ（※ 東洋は自動車向けでトップ）
 - 差別化商品である着色ペーストの技術で世界No. 1
- ⇒ 買収により東洋の品揃えの拡充・強化を図り、拡販
- ⇒ 一体運営により東洋グループの経営資源を最大限に有効活用

サン・アルミニウム工業(株) 買収（12年10月買収。新社名：東洋アルミ千葉(株)）

- ⇒ 販売の一元化による競争力向上
- ⇒ 生産効率向上とリスク回避
- ⇒ 成長分野である「医薬品包材」、「LiB関連部材」でのシェアアップ

業界No. 1ビジネスの強化（3）



日本フルハーフ

- 温度管理車生産ライン整備
- サービス事業の展開強化
- 新商品の開発・市場投入
 - 次世代トレーラ
 - コンテナ型データセンター

「チルノ」 （中型冷蔵ウイング車用冷凍機）

日軽金グループ独自
開発により、高効率、
軽量化を実現



日軽パネルシステム

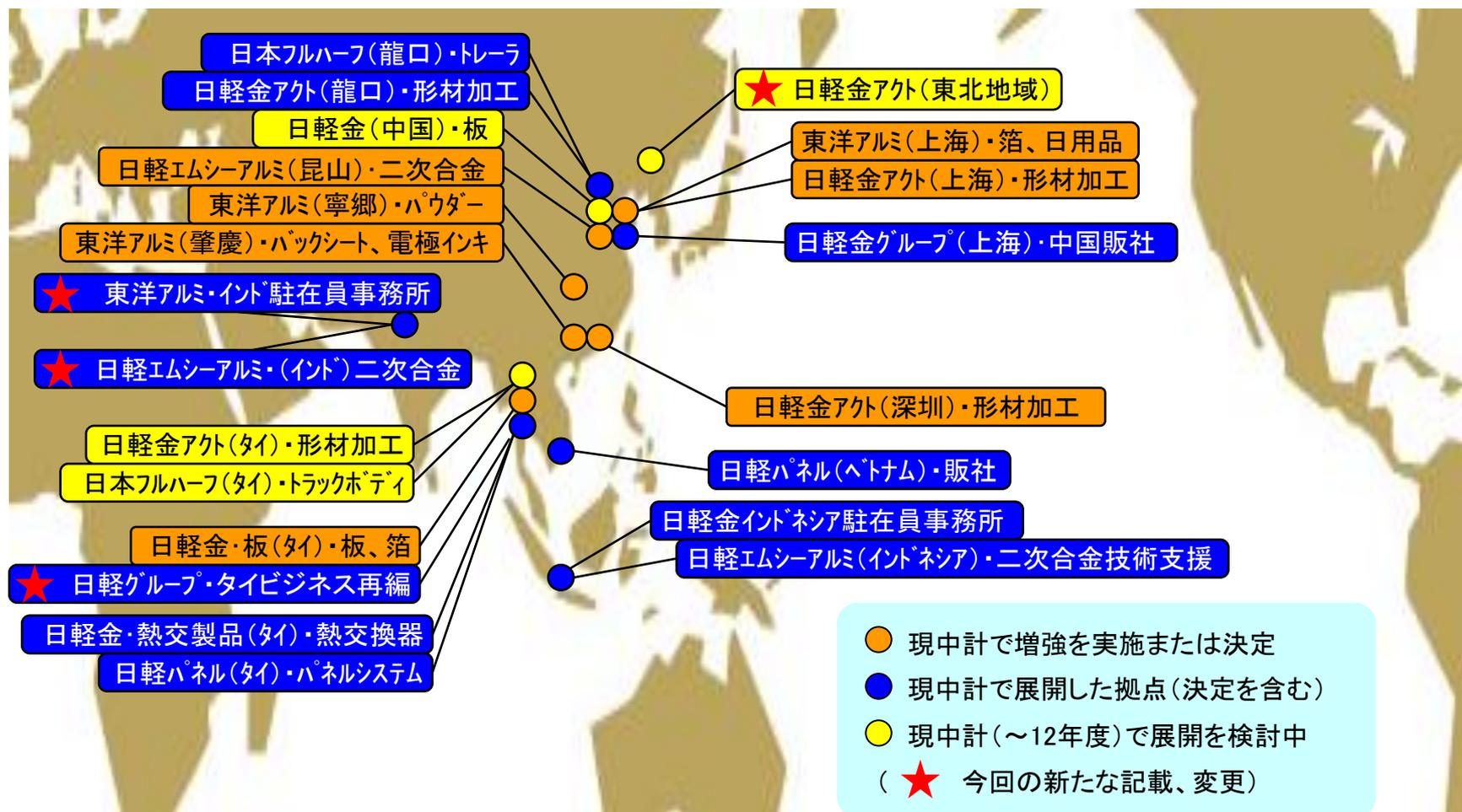
製品ラインアップの充実

- 高気密パネルシステム
（バイオ・クリーンルーム）
- クリーンルーム耐震補強工事
- データセンター用システム天井
- 植物工場



バイオ・クリーンルーム

海外展開の加速



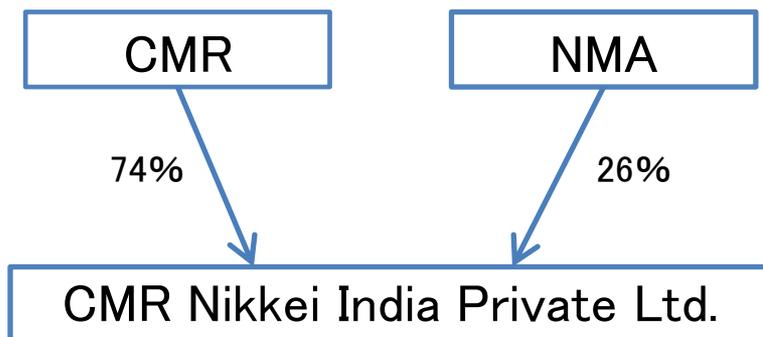


インドにおける二次合金事業

- ⇒ 著しい成長が見込まれるインド市場で事業拡大の橋頭堡を確保
(他の地域への展開、開発合金ニーズに備える)
- ⇒ 12年9月、現地トップメーカー・CMRと合併会社設立

* NMA: 日軽エムシーアルミニウム(株)
CMR: Century Metal Recycling Private Ltd.

合併のスキーム



資本金: 250百万ルピー(約3.8億円)
生産能力: 42千トン/年
操業開始予定: 2013年10月

インドの二次合金市場

各国自動車メーカー、部品メーカーが進出
二次合金需要
2010年: 40万トン/年
⇒ 2020年: 100万トン/年 (予想:NMA)

CMRの概要

- ・ 生産能力: 128千トン/年(4工場)
- ・ シェアは25%以上でトップ(2位は約5%)

日軽金アクトの海外展開



日軽金アクトの中国拠点

中国第4拠点(東北地域)

輸送機器関連および周辺部品

山東日軽丛林汽車零部件 (2012年3月設立)

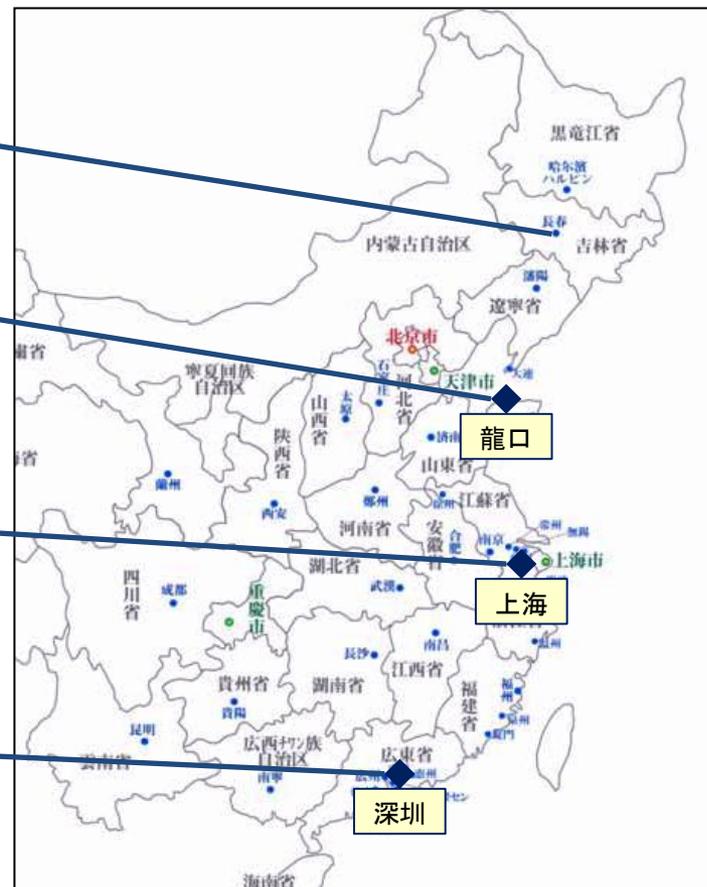
トラック部品(丛林福祿好富向け他)、
自動車部品(バンパー、ブレーキ部品、足回り)

日軽(上海)汽車配件 (2008年4月設立)

自動車部品(サンルーフレール、足回り部品)
※ 欧米メーカー向けが中心。現在もフル稼働
第2工場を増設中

華日軽金(深圳) (2004年4月設立)

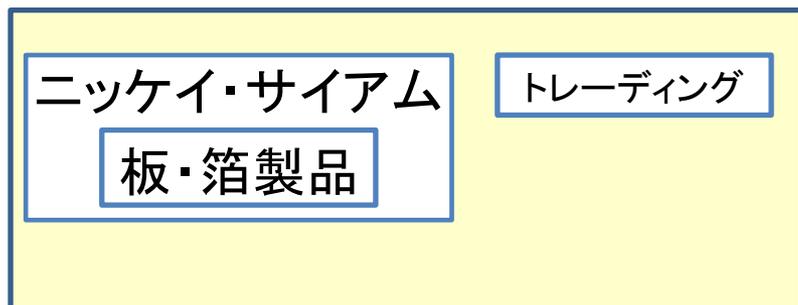
自動車部品(バンパー、サンルーフレール)
※ 日系メーカー向けが多く、稼働率3~4割減



タイにおけるグループビジネス再編

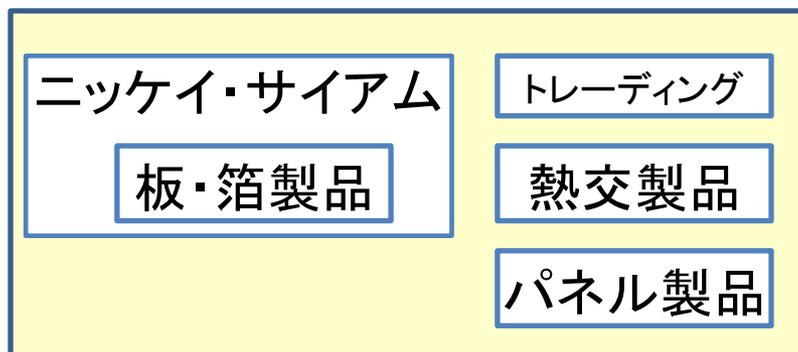


従来(～2011年)



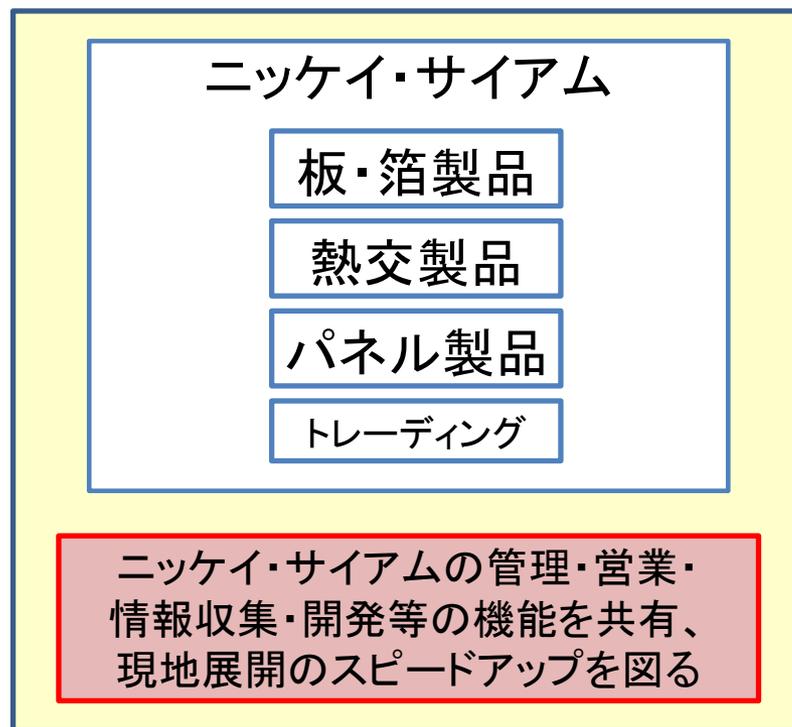
熱交、パネル事業タイ進出

⇒ アマタナコン工業団地内所有地に工場建設



2012年 8月 1日

ニッケイ・サイアムが他の事業を統合



ニッケイ・サイアムの各事業の概況



ニッケイ・サイアム

板・箔事業

- 冷間2号機設置完了
- 12年12月より量産開始予定
- 自動車熱交材のユーザーからは、グローバル展開を視野に入れた引き合いが増加
- 箔事業の強化

熱交事業

- 第2ライン完成が完成
- 450千台/年 → 900千台/年
- 12年12月より量産開始予定

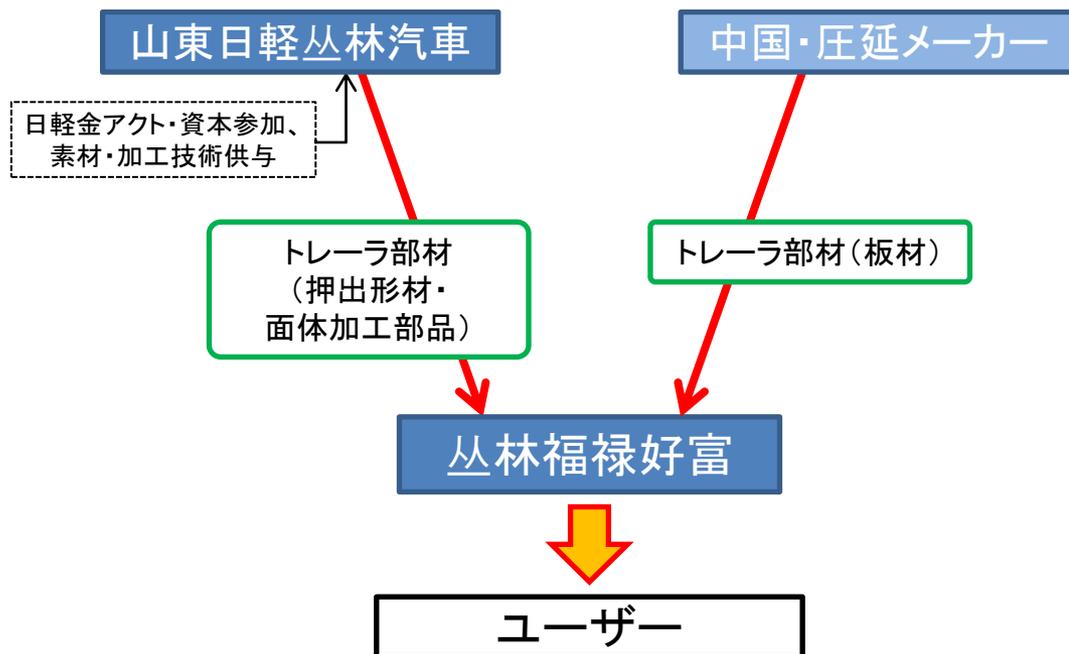
パネル事業

- 12年7月から稼働
- 冷蔵冷凍倉庫向け、クリーンルーム向けに出荷を開始
- 今後は洪水で被災した企業向けの復興需要が増える見込み

丛林福祿好富の概況



丛林福祿好富のビジネスモデル



トレーラ出荷開始

12年10月、バントレーラ13台を
たばこ輸送会社に出荷

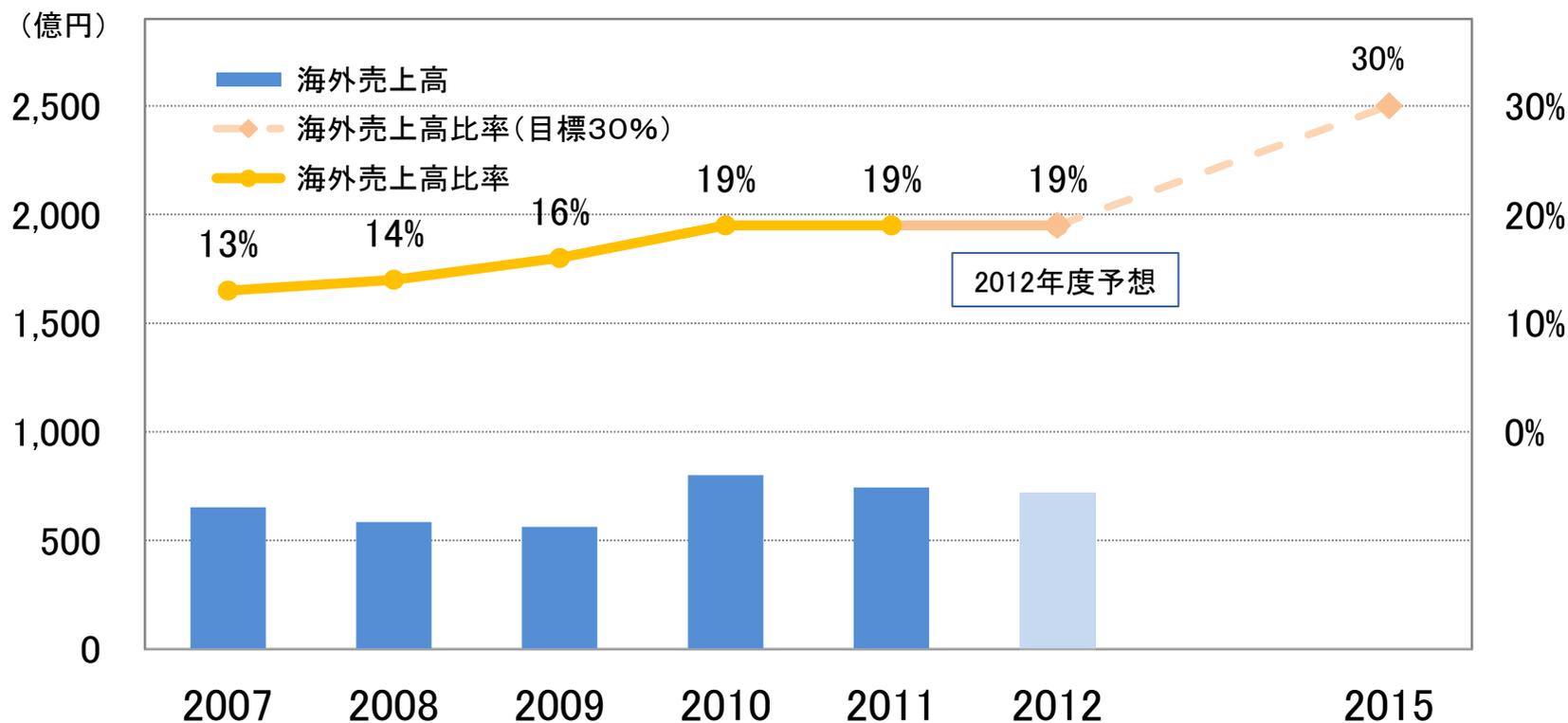


※ 会社名の一部は略称/通称で表記しています。

海外展開の加速



海外売上高

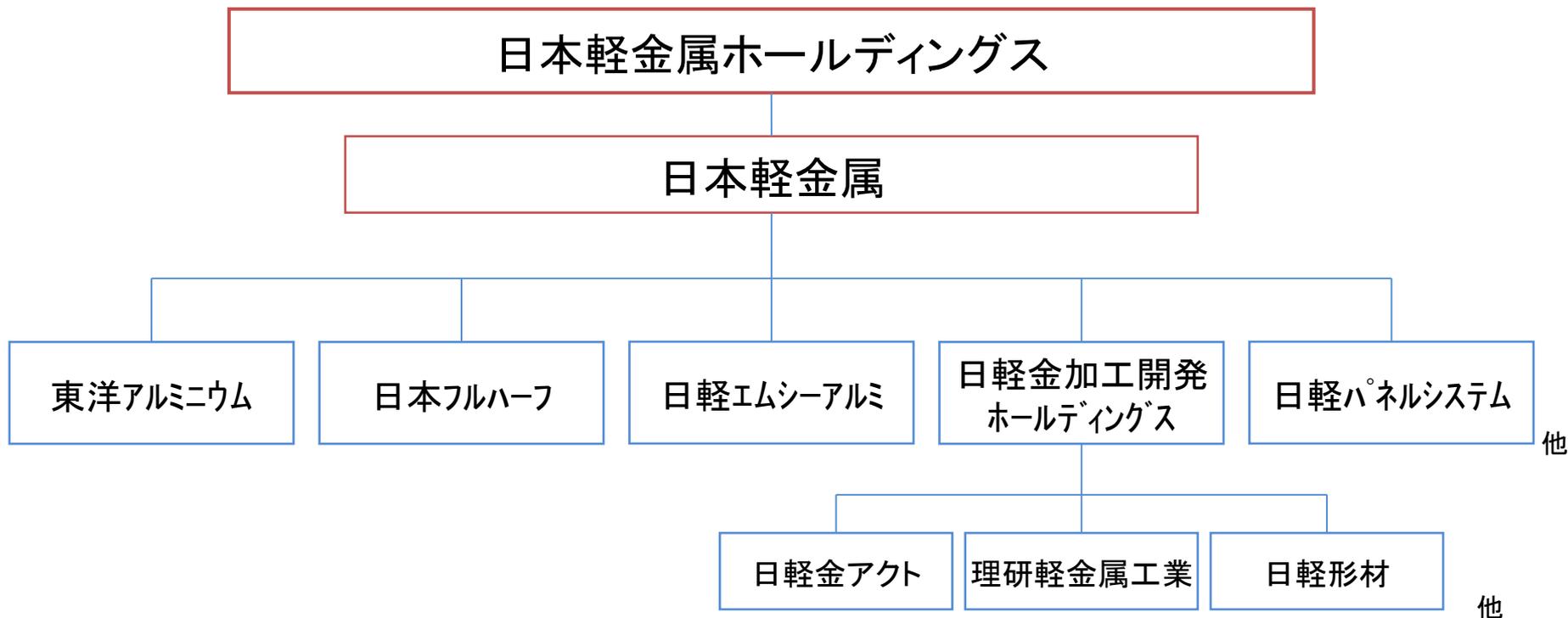


- 
1. 2012年度 第2四半期決算
 2. 2012年度 業績予想
 3. 中期経営計画の進捗
 4. 純粹持株会社体制への移行

第1ステップ： 持株会社を設立



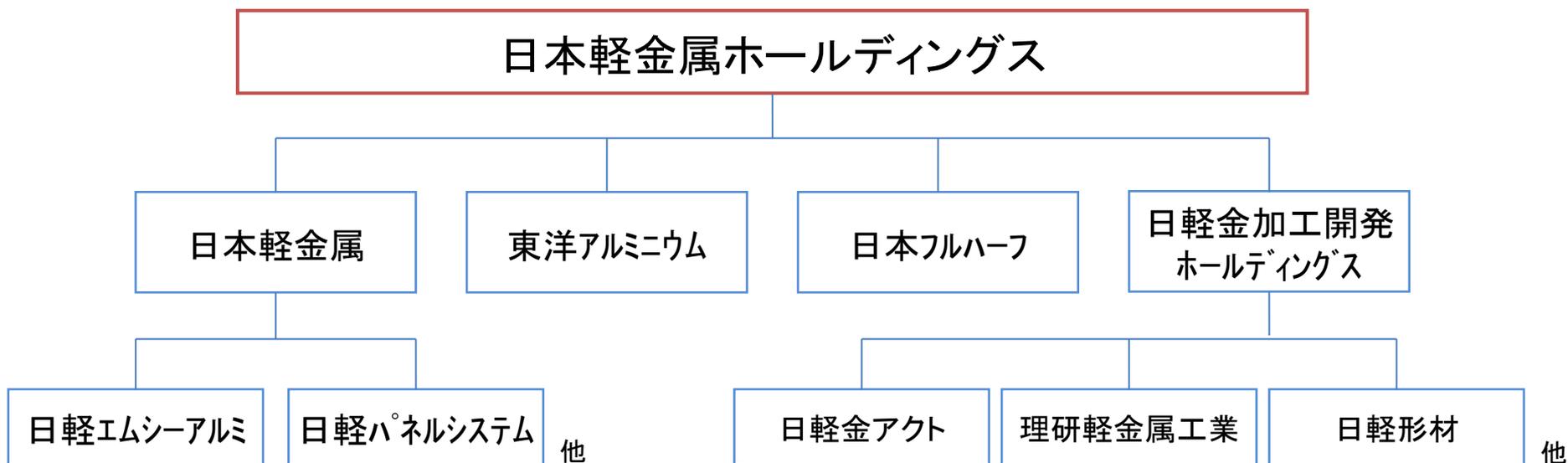
平成24年10月1日



第2ステップ： 4社を並列



平成24年10月1日



第3ステップ： 成長戦略のための再編



平成25年4月予定

日本軽金属ホールディングス

日本軽金属

東洋アルミニウム

日本フルハーフ

日軽金加工開発
ホールディングス

日軽エムシーアルミ

日軽パネルシステム

〇〇〇

他

日軽金アクト

理研軽金属工業

日軽型材

他

日本軽金属ホールディングス決算予想



(億円)

	12年度	
営業収益	47	受取配当金、経営管理料
営業費用	7	役員報酬、経費、業務委託料、上場関連費用
営業利益	40	
金利	5	
経常利益	35	
当期利益	35	

2013年3月期の配当につきましては、**1株あたり3円**を予想しております

アルミにこだわり、 アルミを超えていく

NLM 日本軽金属ホールディングス

本資料についての注意事項

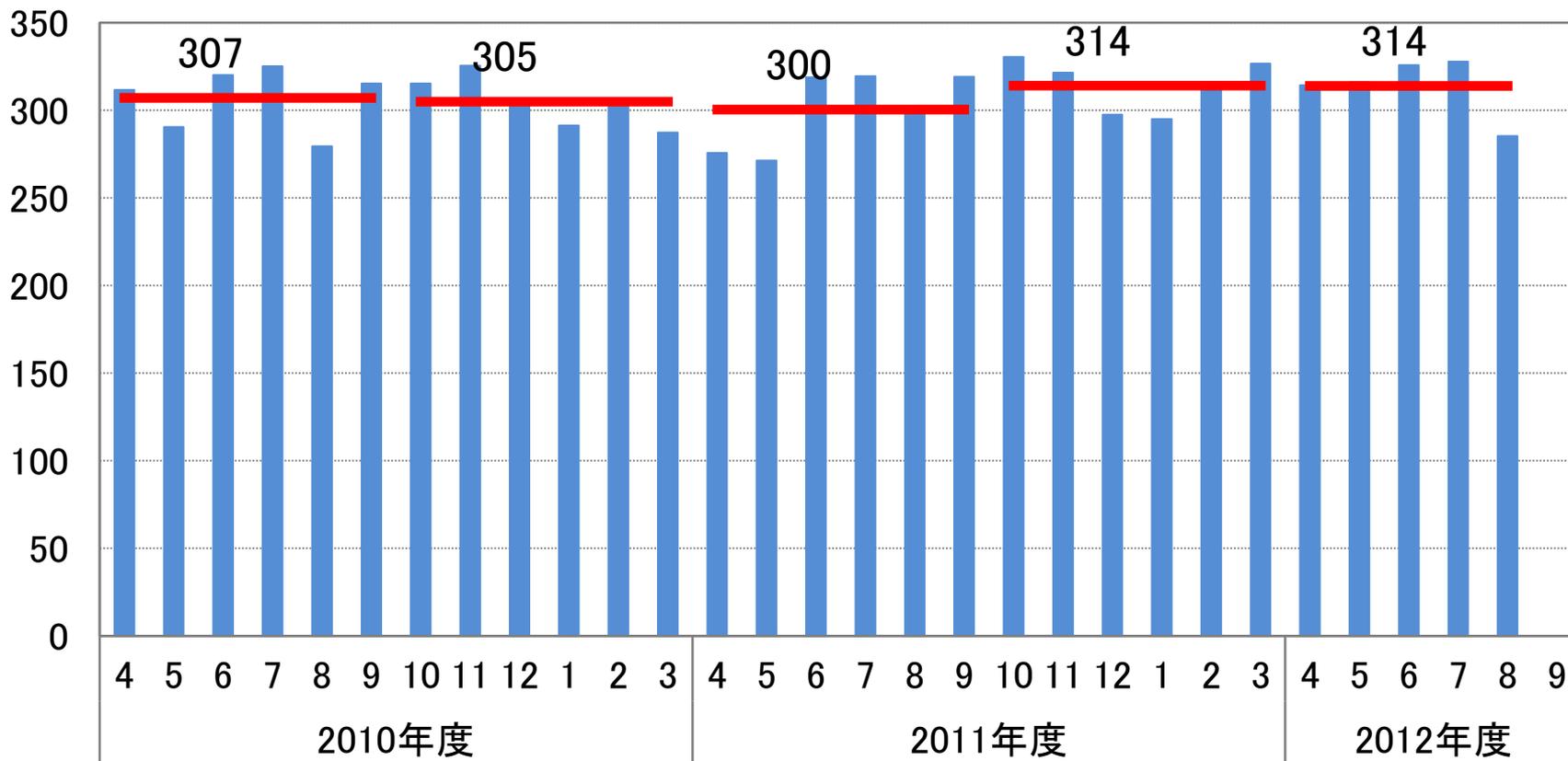
1. 本資料は2013年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移



(千トン)



<出所: 日本アルミニウム協会>

第2四半期決算 — 期初予想比



(億円)

	2012/4-9 実績	2012/4-9 期初予想	差異
売上高	1,837	1,950	△113 (△5.8%)
営業利益	52	75	△23 (△30.2%)
経常利益	36	55	△19 (△35.5%)
当期純利益	23	35	△12 (△33.9%)

経常利益



(億円)

	2012/4-9 実績	2011/4-9 実績	前年同期比	2012/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	36	60	△24	55	△19

(億円)

前期比 △24億円 の内訳

営業利益の減少	△39
持分法損益の減少	△1
為替差額の改善	+5
その他	+11

(億円)

期初予想比 △19億円 の内訳

営業利益の減少	△23
持分法損益の改善	+2
その他	+2

当期利益



(億円)

	2012/4-9 実績	2011/4-9 実績	前年同期比	2012/4-9 期初予想	期初予想比
当期損益	23	35	△12	35	△12

(億円)

前期比 △12億円 の内訳	
経常利益の減少	△24
特別損失の増加	△3
税金費用の減少	+18
少数株主利益の増加	△3

(億円)

期初予想比 △12億円 の内訳	
経常利益の減少	△19
特別損失の計上	△9
税金費用の減少	+17
少数株主利益の増加	△1

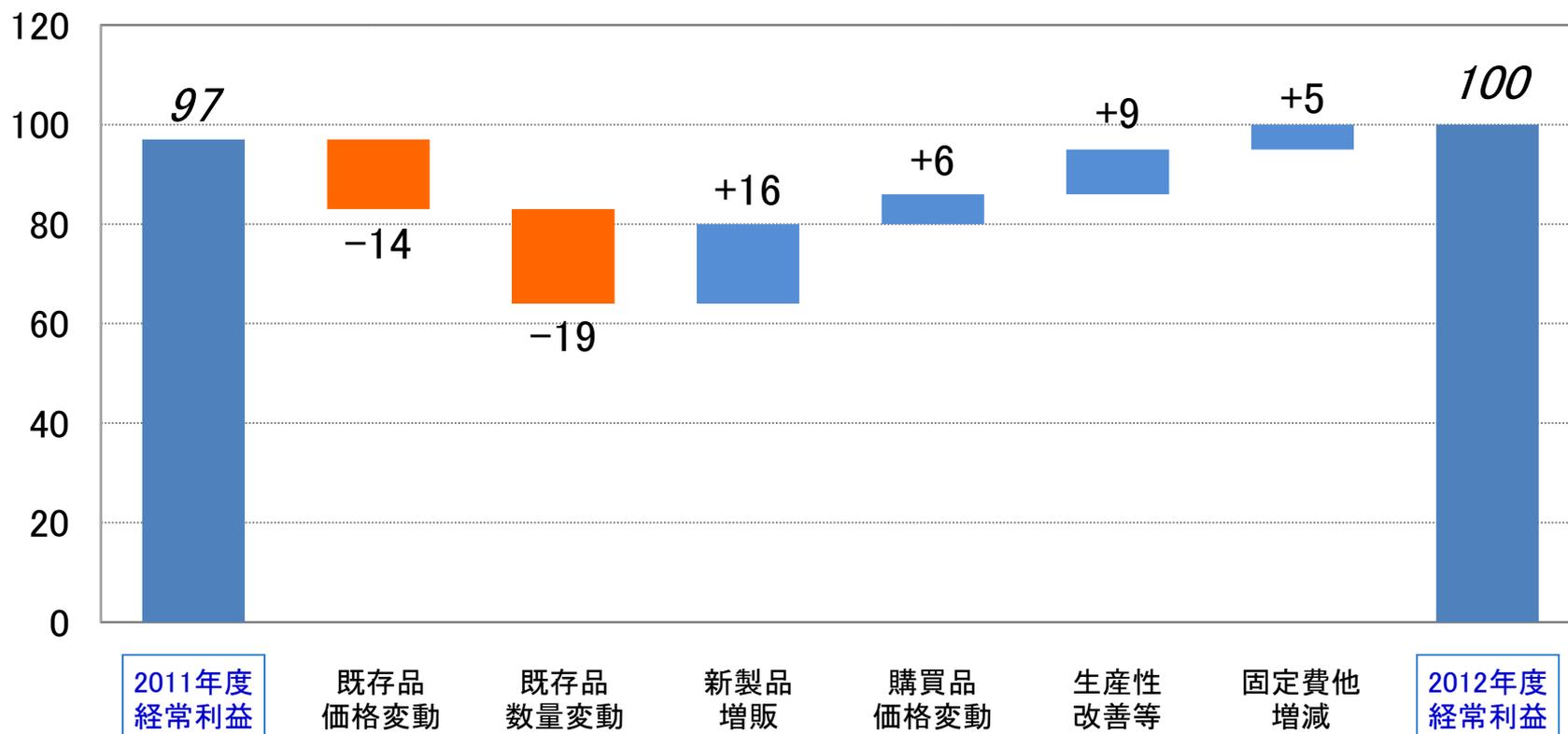
経常利益変化要因



2011年度 +97億円

⇒ 2012年度 +100億円 3億円増加

(億円)



セグメント情報 — 期初予想比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2012/4-9 実績	2012/4-9 期初予想	差異	2012/4-9 実績	2012/4-9 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地金	472	490	△18 (△3.6%)	25	30	△5 (△15.5%)
板、押出製品	315	330	△15 (△4.7%)	2	15	△13 (△87.9%)
加工製品、 関連事業	614	640	△26 (△4.1%)	35	35	0 (+1.2%)
箔、粉末製品	436	490	△54 (△10.9%)	4	10	△6 (△65.1%)
管理・共通	—	—	—	△14	△15	+1
合計	1,837	1,950	△113 (△5.8%)	52	75	△23 (△30.2%)

設備投資・減価償却費 — 前年同期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2012/4-9 実績	2011/4-9 実績	差異	2012/4-9 実績	2011/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	18	29	△11	18	19	△1
板、押出製品	21	18	+3	19	20	△1
加工製品、関連事業	21	17	+4	16	17	△1
箔、粉末製品	37	35	+2	28	27	+1
合計	97	99	△2	81	83	△2

※2011/4-9設備投資実績は、昨年のIR資料から修正しています。
修正はアルミナ・化成品と加工関連との入り組みです。

通期業績予想 — 期初予想比



(億円)

	2012年度 予想	2012年度 期初予想	増減
売上高	3,800	4,000	△200 (△5.0%)
営業利益	135	175	△40 (△22.9%)
経常利益	100	140	△40 (△28.6)
当期純利益	80	85	△5 (△5.9%)
有利子負債	1,920	1,830	+90
ネットDEレシオ	1.5倍	1.4倍	0.1
R O C E	4.9%	6.6%	△1.7p

セグメント情報 — 期初予想比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2012年度 予想	2012年度 期初予想	差異	2012年度 予想	2012年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	940	980	△40 (△4.1%)	45	60	△15 (△25.0%)
板、押出製品	640	690	△50 (△7.2%)	15	35	△20 (△57.1%)
加工製品、 関連事業	1,250	1,270	△20 (△1.6%)	70	70	0 (—)
箔、粉末製品	970	1,060	△90 (△8.5%)	35	40	△5 (△12.5%)
管理・共通	—	—	—	△30	△30	0
合 計	3,800	4,000	△200 (△5.0%)	135	175	△40 (△22.9%)

主要会社の業績予想 — 期初予想比



(億円)

	2012年度 予想			2012年度 期初予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,159	△7	25	1,235	14	34
東洋アルミニウム (連結)	972	38	32	1,068	40	40
日軽エムシーアルミ (連結)	453	6	5	486	9	8
日本フルハーフ (連結)	500	25	24	481	26	25
日軽金アクト	311	19	19	328	19	20

設備投資・減価償却費 — 前期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2012年度 予想	2011年度 実績	差異	2012年度 予想	2011年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	53	87	△34	39	39	0
板、押出製品	47	46	+1	35	40	△5
加工製品、関連事業	57	40	+17	36	34	+2
箔、粉末製品	58	59	△1	57	57	0
合計	215	232	△17	167	170	△3

設備投資・減価償却費 — 期初予想比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2012年度 予想	2011年度 期初予想	差異	2012年度 予想	2011年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、地金	53	57	△4	39	40	△1
板、押出製品	47	56	△9	35	37	△2
加工製品、関連事業	57	55	+2	36	36	0
箔、粉末製品	58	70	△12	57	53	+4
合計	215	238	△23	167	166	+1

日軽金グループの事業領域

